鹿野町総合支所 「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画　進捗状況

項目名	事業概要	目標【基本計画・施策】	推進期間 短期	推進期間 中期	推進期間 長期	短期（～H29年度）における総括 成果（何をどれだけ）	短期（～H29年度）における総括 次年度以降への課題・方向性	H30年度 実施内容	H30年度 予算額（千円）	H30年度 決算額（千円）	H30年度 目標達成度	H30年度 事業の方向性	R元年度 実施内容	R元年度 予算額（千円）	R元年度 決算額（千円）	R元年度 目標達成度	R元年度 事業の方向性	中期（～R元年度）における総括 成果（何をどれだけ）	中期（～R元年度）における総括 次年度以降への課題・方向性	R2年度（実績） 実施内容	R2年度（実績） 予算額（千円）	R2年度（実績） 決算額（千円）	R2年度（実績） 目標達成度	R2年度（実績） 事業の方向性	R3年度 実施内容	R3年度 予算額（千円）	R3年度 決算額（千円）	R3年度 目標達成度	R3年度 事業の方向性	R4年度 実施内容	R4年度 予算額（千円）	R4年度 決算額（千円）	R4年度 目標達成度	R4年度 事業の方向性	R5年度 実施計画	R5年度 予算額（千円）	担当課（支所・本課）
①地場産業の振興	農畜産物の振興	地域ブランドの確立と生産量確保及び販路拡大 【農林水産業の成長産業化】	～H29年度	～R元年度	～R5年度	●そば生産拡大の取り組みは、平成29年度末50ha目標に対し、4Oha（▲1Oha）であった。 ●生姜生産拡大の取り組みは、平成29年度末3ha目標に対し、1ha（▲2ha）であった。	●鹿野そば道場におけるそばの使用について、秋田・北海道産のそばを使用している現状であり、鹿野産そばの生産拡大が急がれる。 ●生姜は加工品としての需要が伸びており、生姜の生産拡大が急がれる。	●そば栽培における従来の交付金制度に加えて、新たに生産性向上対策を実施した圃場への交付金支給を行い栽培面積の拡大を推進した。 目標面積　50ha→35ha ●生姜生産技術講習会を開催し、収量増、栽培面積拡大を推進した。 目標面積　3ha→1ha	–	–	C.未達	2.改善継続	●そば栽培の拡大 面積22ha(目標50ha) ●生姜栽培の拡大 面積　1ha(目標　3ha)	–		C.未達	2.改善継続	●そば栽培及び生姜栽培について、いずれも目標栽培面積に達成されず、短期目標である生産拡大に至っていない。	●生産拡大の取り組みを引き続き推進しつつ、新たな加工品の開発と道の駅との連携による販路拡大について平行して取り組む。 ●鹿野地どりのブランド化・販売促進については、引き続き新会社と連携をとりつつ支援を強化する。	●そば栽培の拡大 面積52.3ha(目標50ha) 収量19.6t ●生姜栽培の拡大 面積1ha(目標　3ha) 収量6.1t ●誘致企業によるイチゴ栽培 とっておき7,500株定植	–		B.概ね達成	3.現状維持	●そば栽培 面積42.3ha（目標50ha作付） 収量15.0t ●生姜栽培 面積1.5ha（目標3ha作付） 収量19t ●イチゴ栽培 20,000株（目標20,000株） 収量6.3t	–	–	B.概ね達成	3.現状維持	●そば栽培 ・面積43.9ha（目標50ha作付） ・収量12.8t ●生姜栽培 ・面積0.65ha（目標3ha作付）・収量14.4t ●イチゴ栽培 ・20,340株（目標20,000株）・収量7.1t	–	–	B.概ね達成	3.現状維持	●そば栽培 （目標50ha作付） ●生姜栽培 （目標2ha作付） ●イチゴ栽培 （目標24,240株）	–	・鹿野町総合支所 産業建設課 ・農政企画課
				○道の駅との連携による販路拡大と6次産業化を目指した新たな加工品の開発																															
		○販売促進活動の推進	○生産拡大		○特産物の販路開拓・拡大と6次産業化	●鹿野そばの知名度には定評があり、新商品の開発及び各種イベントでのPRにより、更なるブランド化に取り組んできた。 ●大阪ATCで開催される商談会を通し、鹿野の生姜が注目され、今後の需要の伸びに期待できる。 ●鹿野地鶏については、随時PR等に取り組んできたが、主力の新商品開発までには至らなかった。	●新商品も開発され販路拡大が期待されるが、現在鹿野産そば及び生姜はいずれも不足している状況であるため、今後の生産量の増加が急がれる。 ●鹿野地鶏のブランド化・販売促進に向けた取り組みは引き続き行う。	●一心庵と共同でそば粉を使用した菓子「ピスコッティ」を開発した。 ●従来の生姜シロップに西地域産イチゴを加えた新たな生姜シロップを開発した。 ●鹿野地どりビヨの生産体制を見直し、新会社設立によるブランド化・販売促進を図った	–	–	C.未達	2.改善継続	●そば加工品等の開発 0件　（単年度目標　3件） ●生姜加工品等の開発 0件（単年度目標　3件） ●鹿野地どりのブランド化・販売促進支援	–		C.未達	2.改善継続	●そば加工品等の開発支援 ・かりんぼう ・そばぜんざい ・とっとり鹿麗（カレー）そば　他 ●生姜加工品等の開発支援 ・生姜シロップ ・和菓子（宝月堂・戸倉商店） ・しょうが飴　他 ●鹿野地どりのブランド化・販売促進支援（生産数1,000羽） ・地鶏すし ・地鶏そば　他 ●温泉イチゴのブランド化・販売促進支援（生産量7,500株） ・イチゴ大福（気高町ふわ）　他	–		A.達成	3.現状維持	●そば加工品の開発支援 ・かりんぼう ・そばぜんざい ・とっとり鹿麗（カレー）そば　他 ●生姜加工品の開発支援 ・しょうがシロップ ・和菓子（宝月堂。戸倉商店） ・しょうが飴　他 ●鹿野地鶏のブランド化・販売促進支援（生産数11,000羽） ・地鶏カレー ・地鶏そば　他 ●温泉イチゴのブランド化・販売促進支援（生産量20,000株） ・イチゴ大福　他 ・地元スーパー ●ジビエのブランド化・販売促進 ・イノシシカレー ・イノシシソーセージ ・シカソーセージ　他	–	–	A.達成	3.現状維持	●鹿野そばの販売促進支援 ①加工品等 ・そばかりんぼう、そばガレット他 ●生姜の販売促進支援 ①加工品等 ・しょうがパウダー、しょうがシロップ ・和菓子（宝月堂、戸倉商店）他 ●鹿野地鶏の販売促進支援（生産数12,093羽） ①鳥取地どりブランド生産拡大支援事業 事業主体：(株)鹿野地鶏 （実績：2,023千円） ・食鳥処理に係る講師招聘経費の支援 ・地鶏のPR、販促活動費の支援 ②加工品等 ・地鶏カレー、地鶏そば　他 ●温泉イチゴの販売促進支援（生産量20,340株） ①販売先 ・スーパーマーケット ・洋菓子屋、和菓子屋 ②加工品等 ・イチゴ大福、イチゴミルクのもと他 ●ジビエのブランド化・販売促進 ①イベント出展によるPR シンポタンの会によるイノシシ、シカ肉料理等の販売 ②加工品等 ・イノシシカレー（因州しし肉）	2,457	2,023	B.概ね達成	3.現状維持	●鹿野地鶏の生産拡大及び販売促進支援 ①鳥取地どりブランド生産拡大支援事業 事業主体:(株)鹿野地鶏 予算額　:5,940千円 ・生産に必要な施設整備の支援 ・食鳥処理に係る講師招聘経費の支援 ・地鶏のPR、販売活動費の支援 ●温泉イチゴの生産拡大及び販売促進支援 ①企業立地促進補助金 事業主体:(株)メイワファーム HYBRID 予算額　:15,000千円（R5.R6） R5 2棟増床 R6 4棟増床予定 R5目標　:24,240株　8.7t ●日本酒醸造用米の生産拡大及び販売促進 支援 ①コメ新市場開拓等促進事業 事業者:3生産者 面積　:0.71ha 予算額:2,836千円 ●加工品等商品開発及び販売促進支援 ①鳥の農場文化交流創造支援事業 「地域・観光資源のコラボ新商品開発」 予算額　:500千円 ●鹿野そば等の加工品開発及び販売促進 ●ジビエの加工品開発・ブランド化・販売促進	24,276	・鹿野町総合支所 産業建設課 ・農政企画課 ・経済・雇用戦略課 ・企業立地・支援課
②文化・芸術の推進と関係人口の拡大	文化芸術活動の支援、伝統工芸や文化の継承、及び若いアーティストが活動できる環境整備を行う。	鹿野町民音楽祭や鳥の演劇祭などの継続開催 【文化芸術によるまちづくりの推進】	○開催支援の継続	○開催支援の継続	○開催支援の継続	●鹿野町民音楽祭は31回、鳥の演劇祭は10回と創意工夫を重ねながら、継続開催されてきた。この間、芸術文化の振興はもとより、地域を支える人財育成、学校教育、県内外、国内外への情報発信、鳥取市の知名度アップに貢献した。	●課題：運営に係る自己財源の確保 ●方向性：引き続き継続開催に向けた支援を行う。	●鹿野町民音楽祭事業補助金 第32回鹿野ふるさとミュージカル上演 「鹿野にはかっぱやまどりくもの糸！」 ・日時　平成30年6月10日 午後2時～ ・場所　鳥取市民会館 ・観客数　536人 ●「鳥の演劇祭11」開催支援 ・平成30年9月6日～23日 ・観客数4,852人	3,650	5,338	A.達成	3.現状維持	●鹿野町民音楽祭事業補助金 第33回鹿野ふるさとミュージカル上演 「語り見の城～もう一つの因幡攻防戦～」 ・日時　令和元年8月11日 午後2時～ ・場所　鳥取市民会館 ・観客数　539人 ●「鳥の演劇祭12」「BeSeTo演劇祭」開催支援 ・令和元年10月24日～11月17日	4,350	4,350	A.達成	3.現状維持	●鹿野町民音楽祭事業補助金 第34回鹿野町民音楽祭 ●「第13回鳥の演劇祭」開催支援 ・令和2年9月12日～27日	4,200	980	B.概ね達成	2.改善継続	●第35回鹿野町民音楽祭は、コロナ禍により中止 ●「第14回鳥の演劇祭」開催支援 ・令和3年9月11日～26日	4,200	1,000	B.概ね達成	2.改善継続	●第36鹿野町民音楽祭は、とりアートに参加する形で実施 ●「第15回鳥の演劇祭」開催支援 ・令和4年9月16日～10月2日	4,200	2,864	B.概ね達成	2.改善継続	●第37回鹿野町民音楽祭開催支援 ●「第16回鳥の演劇祭」開催支援	4,200	・鹿野町総合支所 地域振興課 ・文化交流課
		アーティスト・イン・レジデンスの推進 【文化芸術によるまちづくりの推進】	○制作場所や展示場所の確保と人材確保	○制作場所や展示場所の確保と情報発信	○身近に文化を感じることができる環境作り	●NPO法人鳥の劇場への活動支援として、公演会場などに公共施設を提供した。また、旧鹿野小学校体育館の耐震化・劇場化改修を実施し、個人的な活動拠点整備を実施した。 ●アーティスト1名が移住し、鹿野地区コミュニティ施設をアトリエとして創作活動を開始した。	●課題：活動施設の中には、老朽化が顕著なものがある。 ●方向性：芸術文化の振興、交流人口拡大、アーティストの定住を目的として、関係団体と協議しながら推進していく。	●NPO法人鳥の劇場への活動支援 ・公演会場提供 鹿野町総合支所 鹿野往来交流館童里夢 ・制作場所提供 旧鹿野幼稚園 旧鹿野小学校体育館 鹿野地区コミュニティ施設 勝谷地区コミュニティ施設	–		B.概ね達成	2.改善継続	●NPO法人鳥の劇場への活動支援 活動拠点の提供・広報支援 ●鹿野芸術祭への支援 活動拠点の提供・広報支援 ・関係人口創出拡大事業と連携して支援	–		B.概ね達成	2.改善継続	●NPO法人鳥の劇場への活動支援 活動拠点の提供・広報支援、活動拠点について、地域住民等で組織した委員会で検討し、地域振興会議から市長に対して意見書を提出し支援を依頼した。 ●鹿野芸術祭への支援 広報支援 ●鹿野城下町地区にアートの活動拠点整備「中山間地域・地域遊休施設活用支援事業」6000千円	6,000	6,000	A.達成	2.改善継続	●NPO法人鳥の劇場への活動支援 活動拠点の提供・広報支援、活動拠点について、旧鹿野小学校跡地の活用について「旧鹿野小学校跡地利活用検討委員会」を設置し、住民代表と行政が整備計画について4回の検討を重ねて、旧鹿野小学校跡地利活用整備計画書をまとめました。 ●鹿野芸術祭への支援 広報支援	–	–	A.達成	2.改善継続	●NPO法人鳥の劇場への活動支援 活動拠点整備及び広報支援、活動拠点の整備について地方創生交付金を活用したハードソフト両面での支援をする。 ●鹿野芸術祭への支援 広報支援、補助制度活用の支援	51,900	・鹿野町総合支所 地域振興課 ・文化交流課 ・市民生活部 地域振興課
		亀井踊りの継承 【文化芸術によるまちづくりの推進】	○小中学校と連携した取り組みの検討	○鹿野学園、亀井踊り保存会と連携した後継者の育成	○鹿野学園、亀井踊り保存会と連携した後継者の育成	●亀井踊り保存会が、いんしゅう鹿野盆踊りにおいて、亀井踊りを披露した。	●鹿野学園の独自教科「表鷺科」のカリキュラムとして亀井太鼓が採用された。亀井踊り保存会が指導にあたる。亀井太鼓に取り組む生徒を中心に亀井踊りの認知度を高め、後継者育成へとつなげる。	●亀井踊り保存会の活動支援及び学校教育と連携した継承活動 ・義務教育学校鹿野学園の8年生が、選択制により亀井太鼓を学習。亀井太鼓に取り組む鹿野学園の生徒を中心に亀井踊りの認知度を高め、後継者育成へとつなげる。	–	–	B.概ね達成	3.現状維持	●義務教育学校鹿野学園の6年生、7年生が、選択制により亀井太鼓を学習する。亀井太鼓に取り組む鹿野学園の生徒を中心に亀井踊りの認知度を高め、後継者育成へとつなげる。	–		B.概ね達成	3.現状維持	●鹿野学園の独自教科「表鷺科」のカリキュラムとして亀井太鼓が採用され、亀井踊り保存会が指導にあたる。亀井太鼓に取り組む鹿野学園の生徒を中心に亀井踊りの認知度を高め、後継者育成へとつなげる。	●学校教育と連携した継承活動を引き続き支援し、文化継承・後継者育成へとつなげる。	●亀井踊り保存会の活動支援及び学校教育と連携した継承活動 ・義務教育学校鹿野学園の8年生が、選択制により亀井太鼓を学習。亀井太鼓に取り組む鹿野学園の生徒を中心に亀井踊りの認知度を高め、後継者育成へとつなげる。	–	–	B.概ね達成	3.現状維持	●亀井踊り保存会の活動支援及び学校教育と連携した継承活動 ・義務教育学校鹿野学園の8年生が、選択制により亀井太鼓を学習する計画だったが、保存会側の予定が合わず未実施となった。	–	–	C.未達	3.現状維持	●亀井踊り保存会の活動支援及び学校教育と連携した継承活動	–	・鹿野町総合支所 地域振興課 ・教育委員会鹿野町分室
		菅笠等の伝統継承 【魅力ある中山間地域の振興】	○新商品開発と後継者育成	○販路拡大、情報発信及び後継者確保	○製品の安定供給と販売量の増加	●鹿野中学校2年生が総合学習で取り組んでいる「菅笠製作」の指導を「鹿野すげ笠を守る会」は年間10回以上、行っている。この活動により、生徒たちは「鹿野菅笠」に対する愛着を深めており、長期的に後継者育成に繋がるものと期待される。また、大阪市東成区の深江細工保存会との交流は、10年が経過し絆を深めつつ伝統継承の気運を高めてきた。	●菅笠をとおした地域館交流事業 鹿野すげ笠を守る会と深江菅細工保存会（大阪市東成区）との交流支援及び後継者の育成。 ●菅笠をとおした地域館交流事業 鹿野すげ笠を守る会と深江菅細工保存会（大阪市東成区）との交流支援及び後継者の育成。また、会員の高齢化が進んでいるため、若い世代の取り込みと鹿野菅笠のニーズを新しい感覚でとらえた次世代への伝統継承を図る。	●菅笠をとおした地域間交流事業 鹿野すげ笠を守る会と深江菅細工保存会（大阪市東成区）との交流を実施。深江菅細工保存会が来町し意見交換。 ●鹿野学園において「表鷺科」で指導。	–	–	B.概ね達成	3.現状維持	●菅笠をとおした地域間交流事業 鹿野すげ笠を守る会と深江菅細工保存会（大阪市東成区）との交流は未実施となった。 ●鹿野学園において「表鷺科」で指導。 ・鹿野学園表鷺科（すげ笠）支援	–		B.概ね達成	3.現状維持	●大阪市東成区の深江細工保存会との交流は、10年が経過し絆を深めつつ伝統継承の気運を高めてきたが、令和元年は未実施となった。 ●鹿野学園の「表鷺科」で取り組んでいる「菅笠製作」の指導を「鹿野すげ笠を守る会」が年間通して行っており、生徒たちは「鹿野菅笠」に対する愛着を深めており、長期的に後継者育成に繋がるものと期待される。	会員の高齢化が進んでいるため、若い世代の取り込みと鹿野菅笠のニーズを新しい感覚でとらえた次世代への伝統継承を図る。	●菅笠をとおした地域間交流事業 鹿野すげ笠を守る会と深江菅細工保存会（大阪市東成区）との交流は未実施であった。 ●鹿野学園表鷺科（すげ笠）支援	–	–	B.概ね達成	3.現状維持	●菅笠をとおした地域間交流事業 鹿野すげ笠を守る会と深江菅細工保存会（大阪市東成区）との交流は未実施であった。 ●鹿野すげ笠を守る会が鹿野学園において「表鷺科」で指導。 ・鹿野学園表鷺科（すげ笠）支援	–	–	B.概ね達成	3.現状維持	●菅笠をとおした地域間交流事業 鹿野すげ笠を守る会と深江菅細工保存会（大阪市東成区）との交流は未実施であった。 ●鹿野すげ笠を守る会が鹿野学園において「表鷺科」で指導。 ・鹿野学園表鷺科（すげ笠）支援	–	・鹿野町総合支所 地域振興課 ・経済・雇用戦略課

項目名	事業概要	目標【基本計画・施策】	推進期間 短期	推進期間 中期	推進期間 長期	短期（～H29年度）における総括 成果（何をどれだけ）	短期（～H29年度）における総括 次年度以降への課題・方向性	H30年度 実施内容	H30年度 予算額（千円）	H30年度 決算額（千円）	H30年度 目標達成度	H30年度 事業の方向性	R元年度 実施内容	R元年度 予算額（千円）	R元年度 決算額（千円）	R元年度 目標達成度	R元年度 事業の方向性	中期（～R元年度）における総括 成果（何をどれだけ）	中期（～R元年度）における総括 次年度以降への課題・方向性	R2年度（実績） 実施内容	R2年度（実績） 予算額（千円）	R2年度（実績） 決算額（千円）	R2年度（実績） 目標達成度	R2年度（実績） 事業の方向性	R3年度 実施内容	R3年度 予算額（千円）	R3年度 決算額（千円）	R3年度 目標達成度	R3年度 事業の方向性	R4年度 実施内容	R4年度 予算額（千円）	R4年度 決算額（千円）	R4年度 目標達成度	R4年度 事業の方向性	R5年度 実施計画	R5年度 予算額（千円）	担当課（支所・本課）
③交流人口の増加	まちづくり活動組織との情報の共有を図り、効果的な情報発信や連携した取組によって、人が訪れる魅力あるまちを創出するとともに、国内観光客の誘客と併せ、日本文化体験の受入体制を整備し、海外観光客の誘客に取り組む。	○新たな魅力創出による観光客の誘致 ○着地型観光の推進 【滞在型観光の推進】	○観光客の受け入れ体制の整備及び日本文化体験メニューの創出などによる海外観光客誘致の検討	○西いなば地域振興協議会との連携による情報発信	○海外観光客向け観光メニューの継続した開発 ○体験メニューの拡充	●鹿野城跡公園では、桜ライトアップによる夜桜が話題となり多くの観光客が訪れるようになった。 ●観光ツアーは、主力の城下町ガイド、昼食の雲竜御前に鳥の劇場の観光客受け入れによって商品化することができた。	●各観光商品の磨き上げ。 ●観光ツアー商品の造成、エージェントに対するツアー受け入れ態勢の整備。	●鹿野城跡公園の魅力アップと情報発信の強化 ・桜の開花状況、桜ライトアップHP掲載（3月下旬～4月中旬） ・桜祭りにおける屋台村開設および城跡ポート体験の実施（3月下旬～4月中旬） ●各種イベントの支援・造成 ・ええもん市(4/29) ・ふるさとミュージカル(6/10) ・蓮ウォーク(7/16) ・わったいな祭り(9/22-23) ●西日本最大級の蓮の里整備 ・植付・施肥・草刈（5～7月5回） ●果樹の里山協議会による観光農園の整備にあわせた着地型観光の推進。 ・鹿野町暮らし体験（3/22～24）	－	－	B.概ね達成	2.改善継続	●鹿野城跡公園の魅力アップと情報発信の強化 ・桜の開花状況、桜ライトアップ掲載（3月下旬～4月中旬） ・桜祭りにおける屋台村開設 ●道の駅との連携による観光客誘致 ・西いなばエリアの観光パンフレットが作成、設置（1,000枚）された。 ●果樹の里山協議会による観光農園の整備にあわせた着地型観光の推進。 ・交流拠点施設として生活改善センターを無償貸付 ・農園周辺の農道補修のため、原材料支給制度を活用（コンクリート10㎥）	－	－	A.達成	2.改善継続	●桜シーズンにおける鹿野城跡公園の魅力アップとして飲食ブース（屋台村）の定着を図った。 ●情報発信では道の駅と連携し、ポスターチラシ、窓口案内によるお客様誘導を行った。 ●河内果樹の里山協議会の交流拠点として、河内生活改善センターの利活用を図った。	●鹿野桜祭りのボンボリ・ライトアップ、花火大会、飲食ブースの運営について体制強化する。また多くの観光客を受け入れることによる交通渋滞への対策、人気スポットの過密状態の解消など、課題解決に向けた取り組みを行う。 ●道の駅「気楽里」、鹿野往来交流館「童里夢」との連携により観光客誘致の取り組みを行う。 ●観光農園、交流拠点施設を活かした体験交流の推進を行うとともに、観光商品としての造り込みを支援する。	●鹿野城跡公園の魅力アップと情報発信の強化 ・桜の開花状況、桜ライトアップ掲載（3月下旬～4月中旬） ●鹿野往来交流館「童里夢」 ・レンタル自転車7台（うち2台は電動）やバイクラックの設置するとともに、飲料水や修理工具を無償提供するなど、快適にサイクリング観光できる環境を整備 ・鹿野城跡散策パンフ、御城印、武将印作成「鳥取市観光産業育成支援事業補助金：200千円」 ●果樹の里山協議会による観光農園の整備にあわせた着地型観光の推進。 ・交流イベント「果樹の里山まつり」の開催（10/16）	4,758	4,758	A.達成	3.現状維持	●鹿野城跡公園の魅力アップと情報発信の強化 ・桜の開花状況、桜ライトアップ掲載（3月下旬～4月中旬） ●道の駅「気楽里」、鹿野往来交流館「童里夢」との連携による観光客誘致の取組み ・パンフレットの更新、各種イベントの開催 ・わったいな祭時、文化団体連合会の発表展示を交流館にて開催 ●果樹の里山協議会による観光農園の整備にあわせた着地型観光の推進。 ・交流イベント「果樹の里山まつり」の開催（10/16）	－	－	B.概ね達成	2.改善継続	●鹿野城跡公園の魅力アップと情報発信の強化 ・紅葉ライトアップの実施、桜のライトアップ範囲の拡大、桜の開花状況掲載（3月下旬～4月中旬） ●道の駅「気楽里」、鹿野往来交流館「童里夢」との連携による観光客誘致の取組み ・パンフレットの更新、各種イベントの開催支援 ・わったいな祭時、文化団体連合会の発表展示を交流館にて開催 ●果樹の里山協議会による観光農園の整備にあわせた着地型観光の推進。 ・わったいな祭と連携し、交流イベント「果樹の里山まつり」の開催（10/23）	－	264	B.概ね達成	2.改善継続	●鹿野城跡公園の魅力アップと情報発信の強化 ・桜時期のぼんぼり・ライトアップに関する住民活動の支援 ●道の駅「気楽里」、鹿野往来交流館「童里夢」との連携による観光客誘致の取組み ●観光農園、交流拠点施設を活かした体験交流の推進及び、観光商品での造り込みの支援 ●鳥の演劇の舞台芸術を活用した教育旅行誘致や誘客イベントの開催	3,548	・鹿野町総合支所 地域振興課 ・観光・ジオパーク推進課
	青谷高等学校の地域学習・地域連携の取組を活かした鳥取西いなばまちづくり会社活動支援	にぎわい創出と地域経済の活性化、交流人口の拡大 【商業とサービス業等の振興】			「西いなばの逸品」商品開発															●青谷高等学校の「青谷学」「課題探求」の取組みを通じたアイデアを活かし、西いなば地域の素材を使った商品の開発と道の駅「気楽里」を中心に販路確保 ・鹿野のまちづくり現地学習の実施（10/19） ・道の駅」「気楽里」での取組み発表は中止	－	－	B.概ね達成	3.現状維持	●青谷高等学校の「青谷学」「課題探求」の取組みを通じたアイデアを活かし、西いなば地域の素材を使った商品の開発と道の駅「気楽里」を中心に販路確保 ・鹿野のまちづくり現地学習の実施（10/19） ・道の駅」「気楽里」での取組み発表は中止	－	－	B.概ね達成	3.現状維持	●青谷高等学校の「青谷学」「課題探求」の取組みを通じたアイデアを活かし、西いなば地域の素材を使った商品の開発と道の駅「気楽里」を中心に販路確保 ・鹿野のまちづくり現地学習の実施（10/19） ・道の駅」「気楽里」での取組み発表は中止	－	・鹿野町総合支所 地域振興課
	3町連携による鳥取西いなばまちづくり会社活動支援	にぎわい創出と地域経済の活性化、交流人口の拡大 【商業とサービス業等の振興】			「西いなばの祭典」開催															●3町連携によるまちづくり事業の一環として「西いなばの祭典」を開催する方針だが、進捗していない	－	－	C.未達	2.改善継続	●3町連携によるまちづくり事業の一環として「西いなばの祭典」を開催する方針だが、進捗していない	－	－	C.未達	2.改善継続	●3町連携によるまちづくり事業の一環として「西いなばの祭典」を開催	－	
④移住・定住の促進	鹿野地域への移住・定住を促進し地域の活力を維持するため、空き家の確保・有効活用、及び企業誘致を図る。	空き家の有効利用 【ふるさと・いなか回帰の促進】	○賃貸借対象の空き家改修制度の調査・研究	○空き家の確保と定住促進	○空き家の確保と定住促進	移住定住空き家運営業務委託により、4年間の移住定住者は、32家族59人であった。	鹿野地域への移住希望者はあるものの、空き家が不足しているため、NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会と連携し、集落自治会の協力を得ながら空き家の確保に努め、さらなる移住・定住の促進を図る。	●移住定住空き家運営業務委託(NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会) ・空き家所有者との協議：7件 ・空き家片づけ：3件 ・移住相談：30件 ・移住者数：6家族17名	700	700	B.概ね達成	3.現状維持	●移住定住空き家運営業務委託(NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会) ・空き家所有者との協議：6件 ・空き家所有の売買相談：5件 ・空き家片づけ：3件 ・移住相談：30件 ・移住者数：5組14名	700	700	B.概ね達成	3.現状維持	移住定住空き家運営業務委託により、2年間の移住定住者は、11家族29人であった。	鹿野地域への移住希望者はあるものの、空き家が不足しているため、NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会と連携し、集落自治会の協力を得ながら空き家の確保に努め、さらなる移住・定住の促進を図る。	●移住定住空き家運営業務委託(NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会) ・空き家片づけ：1件 ・移住者数：2組5名	700	700	B.概ね達成	3.現状維持	●移住定住空き家運営業務委託(NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会) ・空き家調査：15件 ・紹介件数：県外9件、県内20件 ・移住者数：県外2組3名、県内1組3名 ・空き家片づけ：2件	700	700	B.概ね達成	3.現状維持	●移住定住空き家運営業務委託(NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会) ・空き家協議、相談：7件 ・問合せ件数：県外14件、県内9件 ・移住者数：県外2組3名、県内3組7名 ・空き家片づけ：0件	700	700	B.概ね達成	3.現状維持	●移住定住空き家運営業務委託(NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会)	750	・鹿野町総合支所 地域振興課 ・市民生活部 地域振興課
	公共交通空白地の解消 【交通ネットワークの充実】	○オンデマンド交通の運行事業検討	○オンデマンド交通など利便性の高い公共交通システムを検討	○既存の気高循環バス、路線バスに共助バスを加えて、より利便性の高い公共交通システムを検討する	気高循環バス「宝木河内線」の鹿野・河内間において、一部、オンデマンド運行を開始した。また、平成29年4月から法楽寺、ニツ家、鬼入道方座への気高循環バス運行を開始した。	オンデマンド交通など利便性の高い公共交通システムを検討。	各地区まちづくり協議会等と連携し地域の実情に即したオンデマンド交通など利便性の高い公共交通システムを検討。	－	－	C.未達	2.改善継続	各地区まちづくり協議会等と連携し地域の実情に即したオンデマンド交通など利便性の高い公共交通システムを検討。	－	－	B.概ね達成	2.改善継続	●運転手不足により気高循環バスの運行が危ぶまれていたが、地元運送会社が受託した。	●高齢者・学生等の地域ニーズを把握し、気高循環バスの現行ダイヤの改善やら共交通空白地有償運送等の運行について、生活交通会議を立ち上げ検討を進める。	●気高循環バスの地元運送会社による委託運行（バス3便）	－	－	B.概ね達成	2.改善継続	●生活交通協議会を立ち上げ、利便性の高い公共交通システムの検討 ・気高町鹿野町生活交通協議会開催　第2回～第4回（第2回7/20、第3回12/15、第4回3/2） ・きらり号の実証実験（10/1～3/31） 　利用登録者数　36名（うち気高町：27名、鹿野町：9名） ・きらり号通信発行No.1～No.5　計5回	－	－	B.概ね達成	3.現状維持	●生活交通協議会において将来にわたって利便性の高い公共交通システムの検討 ・実証実験延長（9/30まで）及び気高町、鹿野町全域にエリア拡大（5/8～9/30） ・広報活動（きらり号通信発行、びょんびょんネット放送等） ・登録者確保に向けた出前説明会による周知	－	・鹿野町総合支所 産業振興課 ・交通政策課
⑤郷土愛を育む教育の推進	地域ぐるみで鹿野学園の教育活動を支援し、高い志を持ちふるさと愛にあふれる子どもを育むとともに魅力ある地域づくりを進める。	【教育の充実・郷土愛の醸成】	○方針決定を受け、地域と一体となった教育環境の整備方法を検討	○しかの学校応援団をはじめ地域が鹿野学園の児童生徒と関わりを深め人材育成と魅力ある地域づくりを進める	○しかの学校応援団をはじめ地域が鹿野学園の児童生徒と関わりを深め人材育成と魅力ある地域づくりを進める	約5年間にわたり、学校、保護者、地域住民が真剣に協議を重ねH30.4月、義務教育学校鹿野学園の開校に向けて準備を整えた。	しかの学校応援団の活動を支援をしつつ学校運営協議会と連携しながら、地域ぐるみで子どもたちを育む気風・環境を整える。	●しかの学校応援団活動支援　・環境整備活動等 実施	－	－	B.概ね達成	3.現状維持	しかの学校応援団の活動を支援をしつつ学校運営協議会と連携しながら、地域ぐるみで子どもたちを育む気風・環境を整える。	－	－	A.達成	3.現状維持	結成以来、鹿野学園の学習・環境・生活支援を年間通じて行っており、令和元年度は学校行事への参加を含め24事業を行った。	引き続き、しかの学校応援団の活動を支援をしつつ学校運営協議会と連携しながら、地域ぐるみで子どもたちを育む気風・環境を整える。	しかの学校応援団の活動を支援をしつつ学校運営協議会と連携しながら、地域ぐるみで子どもたちを育む気風・環境を整える。	－	－	A.達成	3.現状維持	●しかの学校応援団の活動を支援をしつつ学校運営協議会と連携しながら、地域ぐるみで子どもたちを育む気風・環境を整える。	－	－	B.概ね達成	2.改善継続	●しかの学校応援団の活動を支援をしつつ学校運営協議会と連携しながら、地域ぐるみで子どもたちを育む気風・環境を整える。 ・4年ぶりに総会を実施予定	－	・鹿野町総合支所 地域振興課 ・教育委員会鹿野町分室